

XANADY GPS-800SG

取扱説明書

<保証書付>

DC12V 専用



GPS-800SGをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。




目次

安全についてのお願いとご注意	1
ご使用前に	3
製品の構成	5
本機の特長	6
各部の名称	8
取付方法	9
1. GPSレーダーの取付け	9
2. 電源の配線	10
GPSレーダーの使用方法	11
1. GPSレーダーの起動	11
2. 各種設定をおこなう場合	12
3. 待機状態の表示内容	13
警告動作	16
1. GPS測位機能	16
2. GPS機能の警告動作	17
3. レーダー受信機能の警告動作	20
4. 無線受信機能の警告動作	22
GPSレーダーの設定	23
1. 初期設定	23
2. GPS測位機能の設定	23
3. レーダー受信機能の設定	27
4. 無線受信機能の設定	29
5. その他の機能	30
ワンセグチューナーと接続する場合	32
1. 接続方法	32
2. GPSレーダーの表示設定	32
3. 待機状態の表示内容	34
4. 警告画面	36
故障とお考えになる前に	41
主な仕様	42







安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を理解してから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。





■絵表示の例

-  △記号は気をつける必要があることを表しています（警告・注意）。
 ⊘記号はしてはいけないことを表しています（禁止）。図の中の表示は禁止の内容（左図は分解禁止）を示し、一般の表示は⊘です。
 ●記号はしなければならないことを表しています（強制）。図の中の表示は強制の内容（左図は差し込みプラグをコンセントから抜く）を示し、一般の表示は●です。




人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ■本機を濡らさないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ■車を運転中に本機を操作しないでください。
車の運転中に、本機の操作を行うことは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ■ケースは絶対に開けないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■スピードの出しすぎにご注意ください。
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
-  ■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
-  ●

けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと

-  ■衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。
-  ■高温時の取扱にご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。
-  ■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。
- 

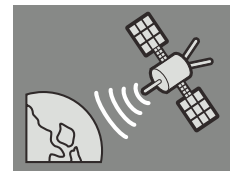
機能上の制約

-  ■日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
-  ■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。
前方に走行中の車（特に大型車）がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車での使用時も受信しにくい場合があります。
-  ■取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。
取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

ご使用の前に

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは地球の衛星軌道上にある人工衛星からの信号を利用して位置情報を算出するシステムです。
本機ではこのシステムを利用して自車の走行状況を判断することで、あらかじめ登録されている速度取締機やNシステムなどへの接近などを警告します。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかったループコイル式の取締機についても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機についても30ヶ所まで登録することが可能です。

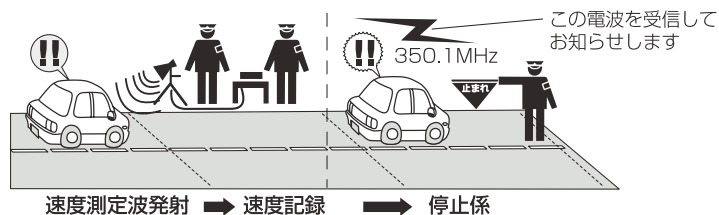


- Nシステム(自動車ナンバー自動読み取りシステム)とは
全ての走行車両を必要に応じて赤外線カメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする自動車ナンバー読み取り装置です。

無線受信機能について

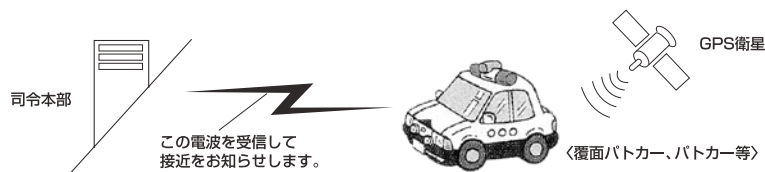
速度取締連絡波（取締無線）・無線自動車動態表示システム電波（カーロケ無線）を受信し、音声とランプの点滅で警告します。

■取締連絡波（取締無線（350.1MHz））とは



■カーロケーターシステム（カーロケ無線）とは

GPS で算出した警察車両などの位置情報を無線で定期的（間欠）に司令本部に送信するシステムです。

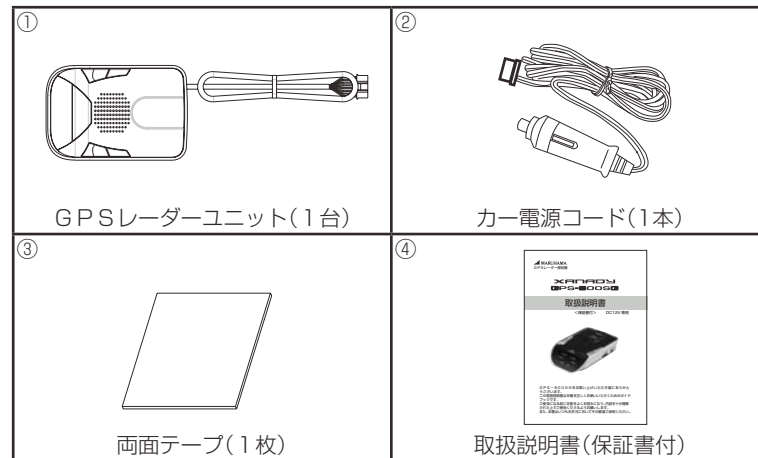


※全車装着しておりません。
装着者のみを対象とします。

製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

- ①GPSレーダーユニット…………… 1台
- ②カー電源コード…………… 1本
- ③両面テープ…………… 1枚
- ④取扱説明書(本冊子)…………… 1冊



本機の特長

【GPSレーダー探知機の特長】

GPS警告機能

■各種警告ガイド機能

プリセットされている設置型取締機（オービス）・取締ポイントなどに接近すると、取締の種類などを音声とランプで警告します。通過時には通過速度を音声でお知らせします。

●設置型取締機（オービス）

全国のオービス（レーダー式オービス／ループコイル式オービス／LHシステム／Hシステムなど）を約650箇所登録しています。

●取締ポイント

よく速度取締りが行われているポイントを取締ポイントとして登録済み。

●Nシステム（ナンバー自動読みとりシステム）

全国で約1650箇所登録しています。

●オリジナルポイント 最大30ヶ所まで登録できます。

■6ステップ警報システム

取締機の約2km前から、段階的に6ステップの音声とランプで警告します。

■オートマチック・イノベーション・システム（AIS）

走行状況を判断し、GPS警告の対象道路（高速道路／一般道路）、及びレーダー受信感度（エクストラ／ウルトラ／スーパー／ノーマル）を自動的に設定します。

※走行状況により、走行道路を正しく判断できない場合があります。その場合は、自動的にオールモード設定となり、すべての取締機に対しての警告を行います。

■ドライビング・サポート・インフォメーション

各種の情報を音声で警告し、安全運転を促します。

■最終通過速度の確認機能

最後に通過した取締機／オリジナルポイントでの通過速度を確認することができます。

無線受信機能

■速度取締り現場の取締無線（350.1MHz）が受信可能

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信し、警報音声でお知らせします。

■カーロケーターシステム電波が受信可能

407MHz帯のカーロケ無線を受信し、警報音声でお知らせします。緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。また、対象車両の接近や離反を判断し、音声でお知らせします。

※一部地域や車両ではシステムが導入されていない為、受信することができません。

■トラップゲートモード搭載

一定時間内に取締無線・カーロケ無線を複数回受信した場合、ランプの点滅と専用アラームで取締りや検問などの可能性が高いことをお知らせします。

レーダー探知機能

■X/K 2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式速度取締機に対応します。

■4モード感度切替・オート感度切替機能

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況に合わせてレーダーの受信感度の切り替えができます。オート感度モードでは、走行状況に応じて適切な感度に自動的に切り替えます。

■ステルス／新Hシステム対応

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。

※ステルス識別モードはステルス型スピード取締りに完全対応しているわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

■ゴーストアラームカット（GAC）機能搭載

自動ドアによる誤警報など、不要な警報動作の発生位置を自動的に登録し、不要なアラーム音をカットします。自動登録のほか、手動登録も可能です。

■オートミュート機能

一定時間レーダー波を受信し続けると、警告音の音量を自動的に小さくします。

その他

■オートアラームカット（AAC）システム搭載

設定速度以下で低速走行している時、レーダーアラーム音や取締機への接近警告音を自動的にカットします。また、停車中の無線受信警告音もカットします。

■ミュート機能

警報中の警告音を一時的に消音することができます。

■ナイトディマー機能

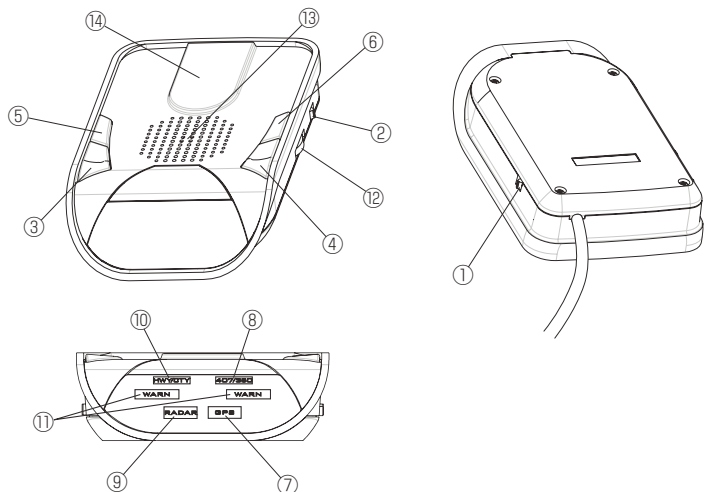
GPSの時刻情報をもとに夜間のランプの光量を自動的に抑え、眩しさを防ぎます。

■弊社ワンセグチューナーMD-600Sと接続が可能

本製品とMD-600Sを接続すれば、ワンセグ画面に警告表示がイラスト、アニメ、各種アイコンで割り込みます。

各部の名称

<GPSレーダーユニット>

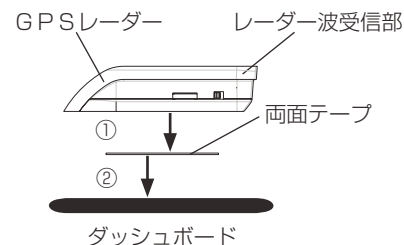


- ①電源スイッチ (POWER)
電源をON / OFF します。
- ②スピーカ切替スイッチ (SPEAKER)
内蔵スピーカでの出力ON / OFF を切替えます。
- ③メモ / クリアボタン (MEMO / CLR)
オリジナルポイントの登録及び消去をします。また、GPS プリセットポイントのアラームカット登録・消去を行います。
- ④ミュート / スピードボタン (MUTE / SPEED)
GPS プリセットポイントの通過速度の再生及び警告音のミュートやアラームテストを行います。
- ⑤レーダー / GPS ボタン (RADAR / GPS)
レーダー感度の設定や道路モードの設定を行います。
- ⑥407 / 350 ボタン (407 / 350)
カーロケ無線及び取締無線のON / OFF 設定を行います。
- ⑦GPS ランプ (GPS)
GPS の受信状態を表示します。
- ⑧407 / 350 ランプ (407 / 350)
取締無線及びカーロケ無線受信時に表示します。
- ⑨レーダーランプ (RADAR)
受信感度設定及び受信感度を表示します。
- ⑩ハイウェイ / シティランプ (HWY / CTY)
GPS 警告の対象道路を表示します。
- ⑪アラームランプ
レーダー受信、無線受信、GPS 警告時に表示します。
- ⑫音声調節つまみ
警告アラーム音、音声の音量を調節します。
- ⑬内蔵スピーカ
- ⑭GPS 受信部

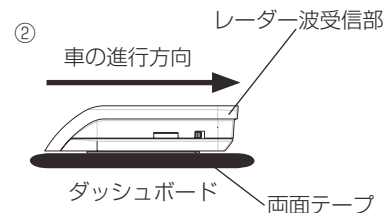
取付方法

1. GPSレーダーの取付け

- ①GPSレーダーの裏面に、付属の両面テープを貼り付けます。



- ②両面テープのもう一方の面でダッシュボードへ貼り付けます。この時、レーダー波受信部が車の進行方向を向くように、また、地面に水平になるように取付けます。



ご注意

- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くには取り付けないでください。
- GPSレーダーの上や前方に金属などの障害物がない場所に取り付けてください。

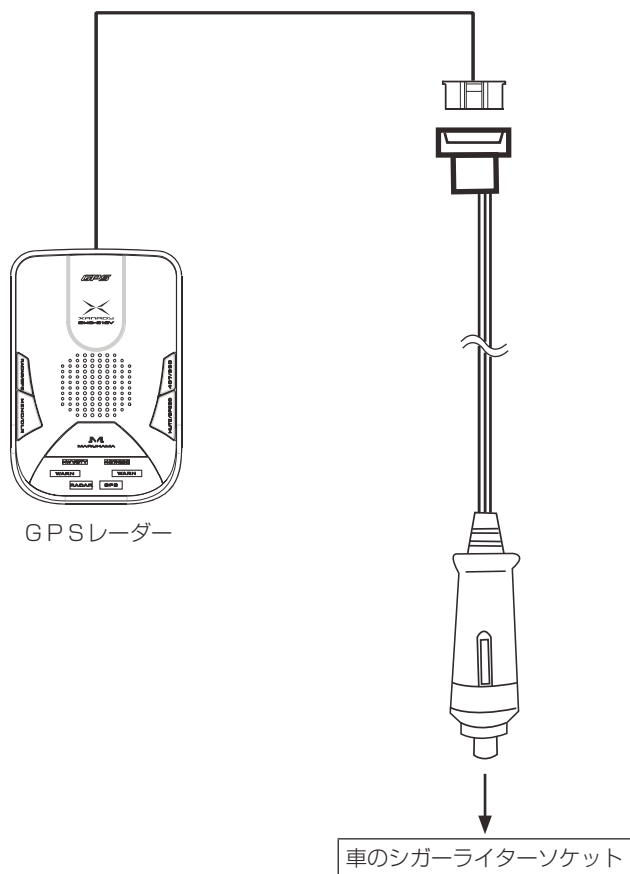
警告

- 高温時の取り扱いにご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので本機に触れる場合は十分にご注意ください

2. 電源の配線

GPSレーダーユニットとカー電源コードを接続します。
※向きに注意して接続してください。

<接続図>



GPSレーダーの使用方法

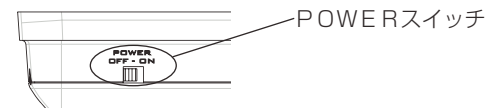
●本機は工場出荷時に初期設定しています。初めてお使いになる場合など、わずらわしい各種設定をしなくても電源を入れるだけで安心してご使用できます。

1. GPSレーダーの起動

操作方法

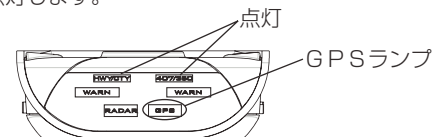
1 電源を入れます

(POWER) スイッチをONにします。



2 GPS測位を開始します

GPS測位が確定するまでGPSランプが緑色の点滅を繰り返します。
GPS測位が確定すると「ピンポン、GPSを測位しました」とアナウンスし、GPSランプは緑色に点灯します。

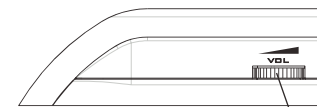
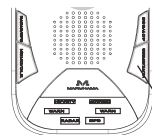


ご注意

- 初めてお使いになる場合、GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- GPS測位を完了し、GPSランプが点灯した状態でないとGPS警告機能は動作することができません。
- 測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は障害物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

3 音量調節つまみで音量を調節します。

(ミュート/スピード) ボタンを押して警報のテスト動作をしながら、音量の調整をします。



●スピーカー切替スイッチはONで使用してください。

2. 各種設定をおこなう場合

工場出荷時に次のように設定されており、通常はそのままで使用になれますが、使用状況やお好みで設定を変更できます。

設定項目	設定内容	種別	参照ページ
道路モード	オート切替モード	GPS機能	P14・16・23
オリジナルポイント	未登録		P18・24
GPSアラームカット	未登録		P25
Nシステム	常にON		P19
SA/PA	常にON		P38
駐車禁止エリア	常にON (ワンセグ側通常動作時のみ)		P37
白バイ出没ポイント	常にON (ワンセグ側通常動作時のみ)		P37
通過速度	未登録	P26	
レーダー感度	オート感度モード	レーダー機能	P20・27
ゴーストアラームカットエリア	未登録		P21・28
取締無線	ON	無線受信機能	P22・29
カーロケ無線	ON		P22・29
オートアラームカット	ON・40 km/h		共通

各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

ご注意

- GPS測位状態で登録・記録済みデータを基に、また、レーダー波、無線電波を受信することで警告動作します。GPSが未測位の状態、未登録の地点や無線受信が出来ない状態では、警告できません。
- SA/PA、駐車禁止エリア、及び白バイ出没ポイントについては、ワンセグチューナー MD-600Sと接続したときのみ動作します。

ちょっと一言

ワンセグチューナー MD-600Sと接続した場合、レーダーの警報音声をTV側にも出力します。レーダー部のスピーカ切替スイッチをOFFにすると、レーダー部のスピーカからの音声出力を停止させることができます。

スピーカ切替スイッチがOFFの状態のとき、テレビまたはカーナビに切替えて実際にワンセグ放送を見ていない場合はレーダー警報音を聞くことができなくなりますので、ご注意ください。

3. 待機状態の表示内容

■GPS測位

GPS測位が完了しているとき、GPSランプは緑色に点灯しています。この状態の場合は各種GPS機能が有効となります。



ご注意

- GPS測位が完了していない、あるいは衛星の電波が弱まり測位できなくなった場合にはGPSランプが緑色に点滅します。この状態ではGPS警告機能は動作することができませんので、注意してください。
- 測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は障害物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

ちょっと一言

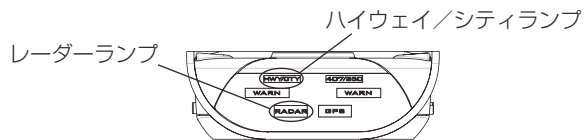
GPSランプは、AAC(オートアラームカット)機能の表示を兼用しています。AAC機能が働き、警報アラーム音などをカットしている状態のときはGPSランプは赤色に点滅し、AAC機能が働いていることを示します。

GPSの測位状態・AACの動作状態	GPSランプ
GPSサーチ中・未測位	緑点滅
測位完了	緑点灯
AAC機能が働いているとき(アラームカット状態)	赤点滅

■GPS警告の対象道路種とレーダー感度

走行する道路に合わせ、必要に応じて道路モードとレーダー感度の設定を行ってください。道路モードの設定はハイウェイ/シティランプ、レーダー感度の設定はレーダーランプで確認することができます。

※設定方法はP23・27 参照



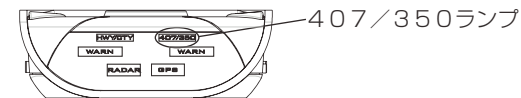
道路モード	GPS警告の対象	ハイウェイ/シティランプ
オールモード	全ての道路の設置ポイント	橙点灯
高速モード	高速道路に設置されたポイントのみ	赤点灯
一般モード	一般道路に設置されたポイントのみ	緑点灯
オート切替モード	走行状態を自動認識して切替え	走行状態に応じて変化

レーダー感度	受信感度	使用例	レーダーランプ
エクストラモード	高 ↑ ↓ 低	高速道路など、高速走行時	緑点灯
ウルトラモード			橙点灯
スーパーモード			赤点灯
ノーマルモード	低	市街地一般道などの走行時	消灯
オート感度モード	状況を判断し、適切な感度に自動的に切り替えます。		走行状態に応じて変化

■無線受信機能

無線受信機能のバンド受信のON/OFF設定は407/350ランプで確認することができます。必要に応じて、各種無線バンドの受信設定を行ってください。

※ 設定方法はP29参照



取締無線	カーロケ無線	407/350ランプ
ON	ON	橙点灯
ON	OFF	赤点灯
OFF	ON	緑点灯
OFF	OFF	消灯

ちょっと一言

- ・取締無線は、スピード違反やシートベルト取締の際の現場連絡に使われることのある無線バンドです。音声で交信されることもありますが、本機は無線を受信したことをボイス警報でお知らせします。
- ・カーロケ無線は、パトカーなどの警察車両の位置情報を警察署などに伝送する無線バンドです。デジタル化されており、音声として聞くことはできません。本機では、無線を受信したことをボイス警報でお知らせします。また、カーロケ無線はシステムを導入していない地域では受信することができません。

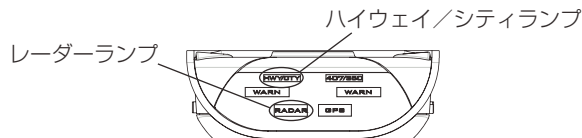
警告動作

1. GPS測位機能

■GPS警告対象とする道路種

走行する道路に合わせ、必要に応じて道路モードの設定を行ってください。

※設定方法はP23参照



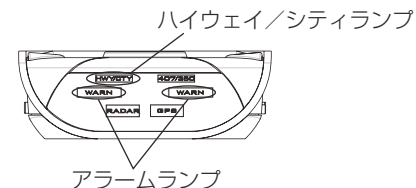
道路モード	ハイウェイ/シティランプ	警告対象
オールモード	橙	全ての道路の設置ポイント
高速モード	赤	高速道路に設置されたポイントのみ
一般モード	緑	一般道路に設置されたポイントのみ
オート切替モード	走行状態に応じて変化	走行状態を自動認識して切替えます

ちょっと一言

- 工場出荷状態では、道路モードはオート切替モードになっています。オート切替モードでは走行状態を判断し、適切な道路モードを自動的に設定します。
- 道路種のオート切替機能は、走行条件やGPSの測位状況によっては正常に道路モードを設定できない場合があります。その場合自動的にオールモードが選択されますのですべてのポイントを警告対象として動作します。
- ※道路状況によりオート切替モード設定が正常に動作しない場合があります。この場合、任意の道路モードに変更して下さい。

2. GPS機能の警告動作

GPSレーダーに登録されている設置型取締機（オービス）および取締ポイントと、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近すると、アラームランプ、ハイウェイ/シティランプ、音声によりお知らせします。



警告道路種	ハイウェイ/シティランプ
高速道路	赤点滅
一般道路	緑点滅
オリジナルポイント	橙点滅

また、アラームランプはポイントまでの距離に応じて下記のように点滅します。

距離 (m)	アラームランプ
2 km告知	遅い点滅 ↑ ↓ 速い点滅
1200~800m	
800~600m	
600~400m	
400~200m	
200m以内	

ご注意

- 警告動作中、ハイウェイ/シティランプは警告対象の設置道路種を表示します。

(1) オービス・オリジナルポイントに対する警告動作

① レーダー本体の警告動作

警告動作

1 2 km 手前

アラームランプ、ハイウェイ/シティランプ、及び音声により警告します。
警告例) “ポーン、高速道路、取締機に注意してください”

2 約 1 km 手前

アラームランプ、ハイウェイ/シティランプ、及び音声により警告します。
警告例) “ポーン、1 キロ先の高速道路、LHシステムに注意してください”

3 1 km～500m

アラームランプ、ハイウェイ/シティランプ及び音声により一定時間毎に警告します。
※車速がAACの設定値以下の場合には警告しません。
警告例) “ポーン、LHシステムに注意してください”

4 500m 手前

ハイウェイ/シティランプ、及び音声により警告します。
警告例) “ポーン、500m先の高速道路、LHシステムに注意してください”

5 500m～200m

アラームランプ、ハイウェイ/シティランプ、及び音声により一定時間毎に警告します。
※車速がAACの設定値以下の場合には警告しません。
警告例) “ポーン、LHシステムに注意してください”

6 200m 手前

アラームランプ、ハイウェイ/シティランプ、及び音声により警告します。
※車速がAACの設定値以下の場合には警告しません。
警告例) “危険です、危険です、危険です……”(速度超過15 km/h以上)
“注意してください、注意してください……”(それ以外の場合)

7 ポイント通過

警告例) “ポーン、通過速度は90キロ未満です”

ちょっと一言

- 取締種や道路種の告知音声は、警報対象のポイントによって変化します。
 - ・取締種の例：LHシステム/ループコイル式/Hシステム/
レーダー式オービス/NHシステム/オリジナルポイント/
取締ポイント(検問) など
 - ・道路種：高速道路・一般道路オリジナルポイントの場合、道路種のアナウンスはありません。
- 取締ポイントに接近したときは、500m圏内に入った時点で警報を終了します。
- トンネル通過直後などに設置されている取締機に接近した時は、トンネルの手前で警報しお知らせします。

(2) その他の告知動作

・Nシステムに対する告知動作

約400m以内に接近すると、ハイウェイ/シティランプ、アラームランプ、及び音声で告知します。
告知例) “ポーン、Nシステムをキャッチしました”

(3) GPS機能に対するご注意

- 建物などの障害物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、測位できていないことを音声 (“GPSを測位できません”)でお知らせします。
GPSが未測位の場合はGPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。
- 警告ボイスは、GPSの測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、横道に入り方向転換するなどして危険を回避した場合、警告動作を終了します。
- レーダー受信よりもGPS警告を優先します。このためGPS警告中はGPS警告の優先表示となり、レーダーの受信動作は行いません。

ちょっと一言

- ・距離の案内音声は、ポイントまでの距離に応じて“1キロ以内”や“500m以内”に変化します。
- ・道路種の音声案内は、ポイントに応じて“高速道路”または“一般道路”となります。
- ・プリセットポイントの場合は、警告ポイントの取締種別によって警告ボイスが変化します。
プリセットポイントの種類：LHシステム・Hシステム・
ループコイル式オービス・レーダー式オービス・
NHシステムなど
- ・通過速度の音声案内は、40キロ未満から150キロ以上まで10キロ刻みでお知らせします。
- ・トンネル直後に設置されている取締機についてはトンネル進入前にお知らせします。
警告例) “ポーン、トンネル出口の一般道路、Hシステムに注意してください”
- ・GPS警告中、車の走行速度がAAC設定車速よりも低い場合、一定時間毎の警告ボイスを自動的にカットします。

3. レーダー受信機能の警告動作

(1) レーダー受信感度の切替

レーダー感度は、走行状況に応じて自動的にレーダー感度が切り替わるオート感度切替モードと、4段階の中から任意の感度に設定して使用するマニュアル感度モードから選択することができます。(P27参照)

動作モード	選択感度	受信感度
オート感度モード	エクストラ/ウルトラ スーパー/ノーマル	走行状況を判断し、自動的に適切な感度に設定します
マニュアル感度モード	エクストラモード	高 ↑ ↓ 低
	ウルトラモード	
	スーパーモード	
	ノーマルモード	

ちょっと一言

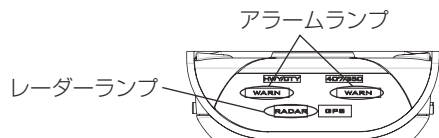
- ・初期設定はオート感度モードに設定されています。
- ・オート感度モードでGPSが測位できない場合は、自動的に最高受信感度のエクストラモードに選択されます。

(2) レーダー受信動作

速度取締レーダー波を受信すると、警報音及びアラームランプ、レーダーランプによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる（発信源に近づく）につれて、警報音及びランプの表示が変化します。またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

<レーダー波受信時の警告動作>

	受信レベル	レーダーランプ	アラームランプ	警報音 (ブザー音)
通常の レーダー波	弱 ↑ ↓ 強	消灯	遅い点滅 ↑ ↓ 速い点滅	長い間隔 ↑ ↓ 短い間隔
		緑 (点滅)		
		橙 (点滅)		
		赤 (点滅)		
		緑⇄赤 (交互点灯)		
ステルス波	強	緑⇄赤 (交互点灯)	速い点滅	専用音声 “ステルスをキャッチしました。” 専用警報音 “ピロピロ・・・”



ご注意

- ステルス型取締りに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

ちょっと一言

- ・AAC設定がONの場合、設定車速以下で走行しているときはAAC機能が働き警告アラームは出力されません。
- ・レーダーの受信感度設定によっては、弱い電波を受信した場合にアラーム音を出力しない場合があります。
- ・ワンセグのレーダー機能設定で警告時のみON・警告表示5秒または10秒に設定しているときは、警告開始当初の一定時間は大きな画面で警告したあと、下部アイコンのみを画面右下に表示します。
- ・一定時間の経過により画面右下に小さくアイコン化された場合は、待機画面に復帰するまでアイコン表示を継続します。

(3) オートミュート機能

レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。
※レーダー波を受信した場合は20秒、ステルス波を受信した場合は10秒に設定されています。

(4) ゴーストアラームカット (GAC)機能

GPS機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤受信の発生位置をGACエリアとして自動的に登録することで、不要なアラーム動作を排除します。
※GACの登録時には、“ボーン、消去しました”と音声でお知らせします。
GACの登録後はGACエリアでのレーダー受信時のアラーム出力を停止します。自動登録の他に手動で登録することができます。(P28参照)

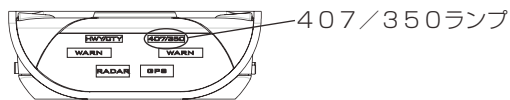
ちょっと一言

- ・設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締りによるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってGACエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作 (P28参照) を行ってください。
- ・自動的に登録されたGACエリアで、30日以上レーダー波を受信しなかった場合、いったん消去されます。手動で登録されたエリアは自動消去されません。(P28参照)
- ・GPSの測位状況によっては、GACエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

4. 無線受信機能の警告動作

取締無線（350.1MHz）及びカーロケ無線（407MHz帯）を受信すると、407/350ランプと音声でお知らせします。

受信バンドごとに、ON/OFFに設定することができます。（P29参照）



(1) カーロケ無線の受信

407MHz帯のカーロケ無線を受信すると、受信状況に応じて車両の接近・離反を判断し、ガイド音声と407/350ランプでお知らせします。

緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

(2) 取締無線(350.1MHz)の受信

取締無線を受信すると、ガイド音声と407/350ランプでお知らせします。

(3) トラップゲートモード

一定時間内に取締無線とカーロケ無線を複数回受信した場合は、取締検問の可能性が高いと判断し、ガイド音声と407/350ランプでお知らせします。

ご注意

- カーロケターシステムが配備されていない地域や緊急車両もあります。また、配備されている場合でも常に電波をだしているとは限りませんので、緊急車両が接近してもお知らせできない場合があります。
- 本機では、取締無線の受信警報の場合でもガイド音声のみの案内となります。無線の交信内容を聞くことはできません。
- 無線の受信警告がなくても取締りや検問が行われている場合がありますので、ご注意ください。

GPSレーダーの設定

1. 初期設定

工場出荷時点で、次のように初期設定されています。

設定を変更する場合は、必要な項目のみ変更してください。

設定項目	設定内容	種別	参照ページ
道路モード	オート切替モード	GPS機能	P14・16・23
レーダー感度	オート感度モード	レーダー機能	P20・27
取締無線	ON	無線受信機能	P22・29
カーロケ無線	ON		P22・29
オートアラームカット	ON・40 km/h	共通	P30

2. GPS測位機能の設定

(1) 道路モードの設定

警告対象とする道路種を設定します。

設定方法

1 **レーダー/GPS** ボタンを長く押しします。

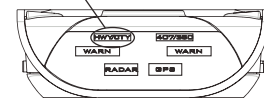


2 設定モードが切り替わり、音声とハイウェイ/シティランプで3秒間点滅表示します。

レーダー/GPS ボタンを長押しする度に、設定モードが切り替わります。3秒経過すると、設定を終了します。



ハイウェイ/シティランプ



モード	点灯色	設定内容	音声
オート切替モード	赤⇄緑 交互切替	道路モードを自動的に切り替えます	♪ピンポーン
オールモード	橙	全てのポイントを警告します	オールモードを設定しました
高速モード	赤	高速道路のポイントを警告します	高速モードを設定しました
一般モード	緑	一般道路のポイントを警告します	一般モードを設定しました

ご注意

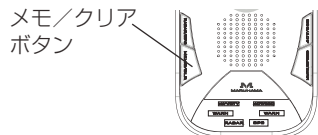
- 初期設定はオート切替モードに設定されています。
- レーダー/GPS** ボタンを短押しの場合はレーダー受信の感度設定モードとなります。
- 障害物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、GPSランプが点滅し、測位できないことをお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。
再度GPS測位を完了した時点で再びGPSランプは消灯します。

(2)オリジナルポイントの登録・消去

新しく設置された取締機やよく取締りの行われているポイントなど、任意の地点を30箇所までオリジナルポイントとして登録することができます。

登録方法

- 1 **メモ/クリア** ボタンを短く押します。
“ブーン”と音声でお知らせします。



- 2 **オリジナルポイントを登録します。**

測位した位置をオリジナルポイントに登録します。GPSの測位状況によっては時間がかかる場合があります。
登録完了時は、音声で“オリジナルポイントを設定しました”とお知らせします。
GPSが測位できなかった場合は、オリジナルポイントの登録失敗となり、“GPSを測位できません”と音声でお知らせします。
登録数が30箇所を越えた場合は、登録不可能となり音声で“設定できません”とお知らせします。

- 3 **受信待ちの状態になります**

登録したポイントは、次回接近時にオリジナルポイントとして警告します。

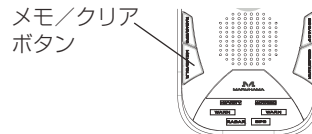
ご注意

- オリジナルポイントは最大30ヶ所登録可能です。新たに登録したい場合は、登録内容を消去してください。
- オリジナルポイントを個別に消去するには、それぞれのポイントのGPS警告中に消去操作を行います。

消去方法

オリジナルポイントは最大30箇所登録できますが、新たに登録する場合は登録済みのポイントを消去してから、新しいポイントを登録してください。

- 1 **オリジナルポイントのGPS警告中に、**メモ/クリア** ボタンを長く押します。**



GPS 警告中

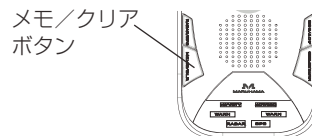
- 2 **ポイントデータを消去します。**
“消去しました”と音声でお知らせします。

(3)GPSアラームカットの登録・消去

取締機・取締ポイントおよびNシステムのGPS警告は、GPSアラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。
頻繁に走行するなど、よくわかっている場合に使用します。
GPSアラームカットは最大10ヶ所登録できます。
※登録を行った場合でも、**アラームランプ**、**ハイウェイシティランプ**による警告は通常どおり行います。

登録方法

- 1 **GPS警告中に、**メモ/クリア** ボタンを長く押します。**
取締機またはNシステムのGPS警告中に操作します。

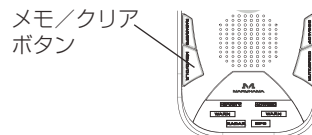


GPS 動作中

- 2 **GPSアラームカット登録を行います。**
音声で“設定しました”とお知らせします。

消去方法

GPSアラームカット登録を消去するには、GPSアラームカット動作中に**メモ/クリア** ボタンを長く押します。操作後、“解除しました”と音声をお知らせした後、通常通りの音声警告を再開します。



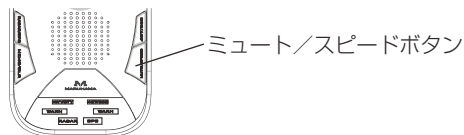
GPS アラームカット中

(4)通過速度の再生

取締機またはオリジナルポイントに対するGPS警告で告知した通過速度は、後で再生することができます。

操作方法

- 1 **ミュート/スピード** ボタンを長く押します。



- 2 直前の取締機通過速度を、音声でお知らせします。
例) *通過速度は100キロ未満です*

3. レーダー受信機能の設定

(1)レーダー感度の設定

レーダー式取締りのレーダー波の受信感度を設定します。

設定方法

- 1 **レーダー/GPS** ボタンを短く押します。



- 2 現在の受信感度の設定を音声とレーダーランプで3秒間点滅表示します。
3秒以内に **レーダー/GPS** ボタンを押す度に設定が切り替わり、設定された感度を音声とレーダーランプでお知らせします。また、3秒経過すると設定を終了します。



レーダー感度 / 設定内容		点灯色	音声
オート感度モード：レーダー受信感度を自動的に切り替えます		赤⇄緑 交互切替	♪ピンポーン
エクストラモード	受信感度 高 ↑ ↓ 低	緑	エクストラモードを設定しました
ウルトラモード		橙	ウルトラモードを設定しました
スーパーモード		赤	スーパーモードを設定しました
ノーマルモード		消灯	ノーマルモードを設定しました

※レーダー波の受信感度は、通常時もレーダーランプで点滅表示します。

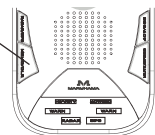
(2)ゴーストアラームカット(GAC)エリアの手動登録・消去

自動ドアなどの電波によるレーダー誤動作発生位置を70ヶ所まで登録できます。
GACエリアとして登録された場所では、レーダー受信時のアラーム音をカットします。

登録方法

- 1 レーダー受信中に **メモ/クリア** ボタンを長く押しします。
“ブーン”と音声でお知らせします。

メモ/クリア
ボタン



レーダー受信中

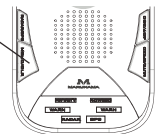
- 2 現在位置周辺をGACエリアとして登録します。

現在位置を中心として一定範囲をGACエリアとして登録します。
登録完了時には、“不要な電波を消去しました”と音声でお知らせします。
測位できず登録できなかった場合、“GPSを測位できません”とお知らせします。

消去方法

- 1 GAC動作中に **メモ/クリア** ボタンを長く押しします。

メモ/クリア
ボタン



GAC 動作中

- 2 GACエリアを消去します。

音声で“解除しました”とお知らせし、通常のアラーム警告が行われます。

ご注意

- GPSの測位状況によっては、GACエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。
- ゴーストアラームカットエリアは最大70箇所登録可能です。新たに登録したい場合は、登録内容を消去してください。

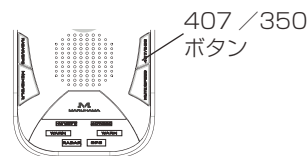
4. 無線受信機能の設定

取締無線(350.1MHz)およびカーロケ無線(407MHz帯)を受信し、音声と407/350ランプでお知らせします。

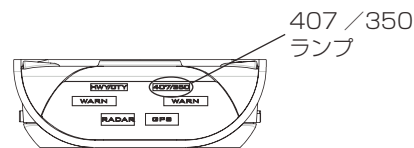
取締無線およびカーロケ無線の受信設定

操作方法

- 1 **407/350** ボタンを短く押しします。



407/350
ボタン



407/350
ランプ

現在の受信設定を音声、407/350ランプで3秒間点滅表示します。
3秒以内に**407/350** ボタンを押す度に設定が切り替わり、設定された受信を音声と407/350ランプでお知らせします。また、3秒経過すると設定を終了します。

受信設定 (ON/OFF設定)	点灯色	ガイド音声
カーロケ無線/取締無線	橙	カーロケを設定しました 取締無線を設定しました
カーロケ無線のみ	緑	カーロケを設定しました 取締無線を解除しました
取締無線のみ	赤	カーロケを解除しました 取締無線を設定しました
OFF	消灯	カーロケを解除しました 取締無線を解除しました

- 2 受信待ちの状態になります。

取締無線またはカーロケ無線を受信すると407/350ランプが点滅し、ガイド音声でお知らせします。(P40参照)

ご注意

- 初期設定は取締無線、カーロケ無線共にON(受信)に設定されています。(P12参照)
- カーロケ無線は全ての緊急車両に搭載されているわけではなく、また常時車両から電波をだしているわけではありません。このような場合は緊急車両の接近があってもお知らせすることはできません。

5. その他の機能

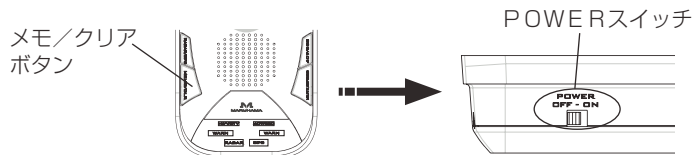
(1) オートアラームカット(AAC)システムの設定

GPS測位で得た車速をもとに、停車中や低速走行時は不要な警報音をカットします。AAC動作中は、GPSランプが赤色に点滅してお知らせします。

レーダー波受信時	AACがONのとき	AACの設定速度以下で低速走行している時にレーダー波を受信した場合、アラーム音をカットします。
	AACがOFFのとき	車速にかかわらず、アラーム音を出力します。
GPS警報	AACがONのとき	AACの設定速度以下で走行している時、繰り返しのガイド音声のみカットします。
	AACがOFFのとき	車速が20 km/h以下の時、繰り返しのガイド音声をカットします。
無線受信時	AACがONのとき	車速が5 km/h以下の時、ガイド音声をカットします。
	AACがOFFのとき	車速にかかわらず、ガイド音声を出力します。

操作方法

(メモ/クリア) ボタンを押しながらPOWERスイッチをONにします。



操作を行う度にAAC機能及び設定速度が切り替わり音声とGPSランプで設定内容をお知らせします。



設定	点灯色	設定速度	音声
ON	赤	40 km/h	AACを40キロに設定しました
		50 km/h	AACを50キロに設定しました
		60 km/h	AACを60キロに設定しました
OFF	赤		AACを解除しました

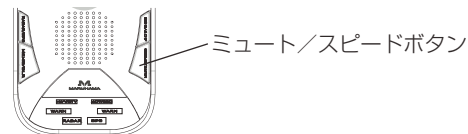
ご注意

- 初期設定AACがONで設定速度が40 km/hに設定されています。
- GPSが未測位の場合は、AAC機能は解除されます。

(2) アラームテスト機能

待機時に**(ミュート/スピード)** ボタンを短く押すと、アラーム警告のテスト動作を行うことができます。

音量の調整・確認などに使用します。

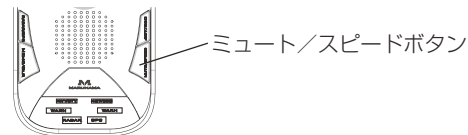


(3) ミュート機能

GPS警告中、レーダー警告中及び、無線受信警告中に、不要な警告音を手動で消音することができます。

操作方法

- 1 警告動作中に**(ミュート/スピード)** ボタンを短く押します。ミュート機能が働いて警告音を消音します。



- 2 GPS警告中のエリアを通過するか、受信電波がなくなるまで警告音を消音します。また、ミュート動作中に再度**(ミュート/スピード)** ボタンを押すと、ミュート機能を解除します。

(4) オールクリア

全てのメモリー内容を初期化し、工場出荷状態にします。

操作方法

(ミュート/スピード) ボタンと**(メモ/クリア)** ボタンを押しながらPOWERスイッチをONにします。初期化が終わると、“ポーン ポーン 消しました”と音声でお知らせします。

(5) ナイトディマー機能

GPSの時刻をもとに、夜間になると自動的にランプの光量を抑え眩しさを防ぎます。また、期間(季節)によりナイトディマーの時刻を切替えます。

期間	夜間
2月～4月・8月～10月	18時～6時
5月～7月	19時～5時
11月～1月	17時～7時

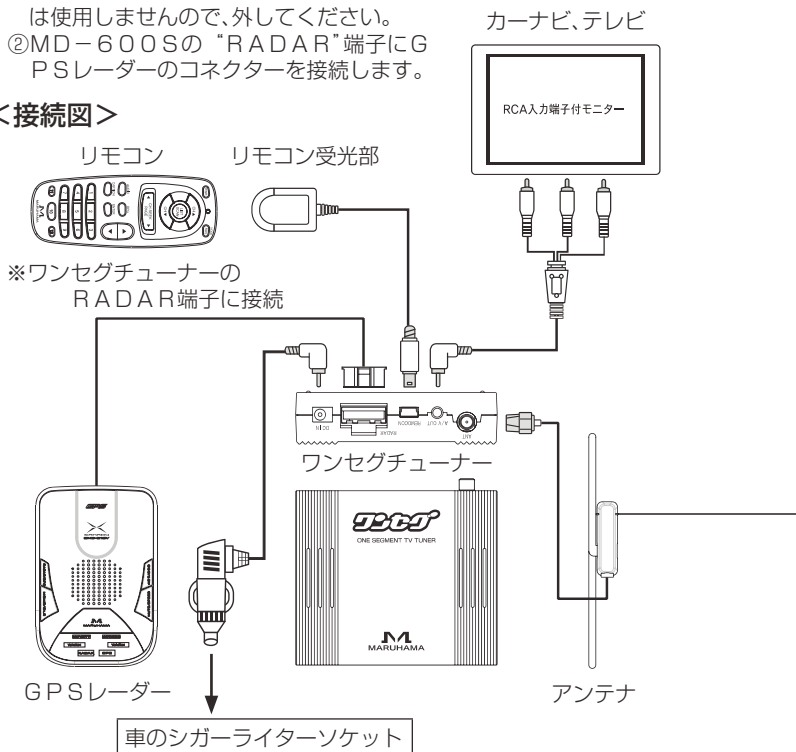
ワンセグチューナーと接続する場合

本製品は弊社製ワンセグチューナーMD-600Sと接続が可能です。接続するとワンセグ画面に警告表示がイラスト、アニメ、各種アイコンで割り込みます。

1. 接続方法

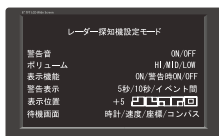
- ①本製品に付属されているカー電源コードは使用しませんので、外してください。
- ②MD-600Sの“RADAR”端子にGPSレーダーのコネクターを接続します。

<接続図>



2. GPSレーダーの表示設定

GPSレーダーの待機画面や警告画面をテレビに表示し、音声警告します。お好みにより、GPSレーダーの画面表示および音量の設定を変更できます。



初期設定

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 警告音 : ON | 5. 表示位置 : 右下 |
| 2. ボリューム : MID | 6. 待機画面 : 速度 |
| 3. 表示機能 : 常時ON | |
| 4. 警告表示 : イベント間 | |

設定項目	機能の内容
警告音	レーダー警告音など、レーダー機能の音声をテレビ側で出力するかしないかの設定 ON : 出力する OFF : 出力しない
ボリューム	レーダー警告時の音声レベルを3段階で設定 HI : 音量大 MID : 音量中 LOW : 音量小
表示機能	レーダー画面（待機画面・警報画面）をテレビ画面に表示するかしないかの設定 ON : 常時表示する 警報時ON : 警報時のみ表示 OFF : 表示しない
警告表示	レーダー警告画面の表示時間設定 (表示機能が“警報時ON”の設定時のみ) 5秒・10秒 : 指定時間表示後、画面右下にアイコンのみ表示 イベント間 : 警報時は全て表示
表示位置	レーダー画面の表示位置を左上・左下・右上・右下・中央の5種類から選択します 画面四隅に表示する場合、リモコンの ▲ ▼ ボタンで表示位置を微調整できます
待機画面	待機画面のメイン表示を時計・速度・座標・コンパスの4種類から選択します * 時計表示以外はGPS測位できていないと表示できません

操作方法

- 1 MD-600Sのリモコンの (RDS) ボタンを長押しすると、レーダーの設定内容を表示します。
設定内容が緑色にハイライトします。
- 2 (CH▲) ボタンまたは (CH▼) ボタンで設定を変更する項目を選択します。
設定項目が赤くハイライトします。
- 3 次に (◀CH SEEK▶) ボタンを押して、設定内容を選択します。
設定内容が赤くハイライトします。
- 4 (RDS) ボタンを長押しして、レーダーの表示設定を終了します。

ご注意

- 警告音をOFFに設定すると、テレビ側からは警告音が出なくなります。この場合は、GPSレーダーのスピーカー切替えスイッチをONにして、GPSレーダー側より音声を出してください。

ちょっと一言

- ・リモコンの (PWR) ボタンを短押しすると、GPSレーダーの待機画面や警告画面を一時的に消して、画面右下に“画像中断中”と表示します。再度 (PWR) ボタンを短押しすると、レーダー画面を表示します。

3. 待機状態の表示内容

警報を行わない状態では、ワンセグ表示画面には待機画面が表示されます。
待機画面は、4種類の表示モードの中から選択することができます。

ご注意

- ワンセグの警報表示設定が“警報時のみON”または“OFF”に設定されているとき、待機画面は表示されません。(P33参照)
- GPS測位をしていない時は画面表示が正常に出ません。



表示モードの選択に応じて①メイン表示と②サブ表示の表示内容が変わります。

表示モード	①メイン表示	②サブ表示
時計モード	カレンダー・時刻表示	速度表示
速度モード	走行速度表示	時計表示
座標モード	自車位置の緯度経度表示	速度表示
コンパスモード	北方位コンパスの表示	速度表示

・道路モードの設定・レーダー感度の設定状態の表示

道路モード設定	③道路モード表示	備考
ALL (オート)	A/ALL	走行状況を判断し、自動的に道路モードを切り替えます。
高速 (オート)	A/高速	
一般 (オート)	A/一般	
ALL (マニュアル)	ALL	設定された道路モードに固定されています。
高速 (マニュアル)	高速	
一般 (マニュアル)	一般	

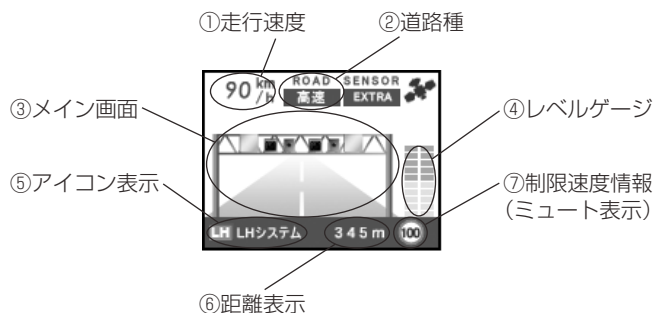
レーダー感度設定	④レーダー感度表示	備考
エクストラ (オート)	A/EXTRA	走行状況を判断し、自動的に感度を切り替えます。
ウルトラ (オート)	A/ULTRA	
スーパー (オート)	A/SUPER	
ノーマル (オート)	A/NORMAL	
エクストラ (マニュアル)	EXTRA	設定された感度に固定されています。
ウルトラ (マニュアル)	ULTRA	
スーパー (マニュアル)	SUPER	
ノーマル (マニュアル)	NORMAL	

・GPSの測位状況の表示 (駐車禁エリアの表示と兼用)

GPS測位状態	⑤GPS測位表示	備考
サーチ中 GPS未測位	グレーで表示	GPS警報できません。
GPS測位完了	青で表示	GPS警報可能です。
駐車禁止エリア		駐車禁止エリア内にいる間、表示します。

4. 警告画面

オービス・オリジナルポイントの警告画面



表示エリア	表示内容
①走行速度	走行速度をリアルタイムに表示します。
②道路種	警報対象の設置道路種を表示します。
③メイン画面	警報カテゴリに応じたイラストを表示します。
④レベルゲージ	接近状況に応じてゲージの点灯数が増えていきます。
⑤アイコン表示	警報カテゴリの内容をアイコンとテキスト文字で表示します。
⑥距離表示	対象設置物までの距離を表示します。
⑦制限速度情報	取締機の場合、道路の制限速度情報を表示します。 ミュート動作を行っているとき、内容をアイコン表示します。
	制限速度情報のある取締機の時
	制限速度情報のわからないポイントの時
	手動ミュート時
	AAC動作中
アラームカット登録ポイント警報中	

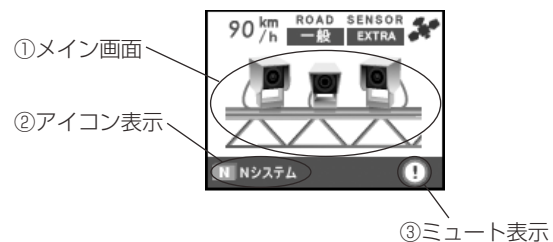
ちょっと一言

- ワンセグのレーダー機能設定で警告時のみON・警告表示5秒または10秒に設定しているときは、警告開始当初の一定時間は大きな画面で警告したあと、下部アイコンエリアのみを画面右下に表示します。
- 一定時間の経過により画面右下に小さくアイコン化された場合は、一旦待機画面（非警報状態）に復帰するまでアイコン表示を継続します。

Nシステム・白バイ・駐車禁止の告知画面

- Nシステムに対する告知動作
約400m以内に接近すると、ハイウェイ/シティランプ、アラームランプ、及び音声で告知します。
告知例) "ポーン、Nシステムをキャッチしました"
- 白バイ出没ポイントに対する告知動作
白バイ出没ポイントへ接近したとき、ハイウェイ/シティランプ、アラームランプ、及び音声で告知します。
告知例) "ポーン、接近しました。注意してください"
- 駐車禁止エリア進入に対する告知動作
駐車禁止エリアへ進入したとき、ハイウェイ/シティランプ、アラームランプ、及び音声で告知します。
告知例) "ピンポーン"

②ワンセグの告知画面



表示エリア	表示内容
①メイン画面	告知カテゴリに応じたイラストを表示します。
②アイコン表示部	告知カテゴリの内容をアイコンとテキスト文字で表示します。
③ミュート表示	ミュート動作状態をアイコン表示します。
	通常時（アラーム音出力中）
	手動ミュート時
	AAC動作中
アラームカット登録ポイント警報中	

SA（サービスエリア）／PA（パーキングエリア）に対する告知画面

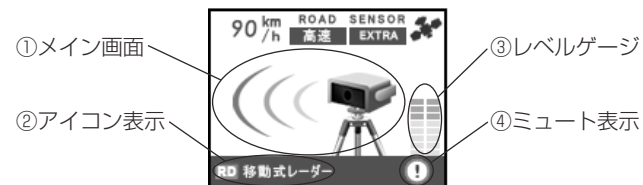
SAまたはPAの約2キロメートル手前で、ハイウェイ／シティランプ、アラームランプ、及び音声で告知します。
告知例)“ポーン、接近しました。”
ワンセグ画面では、ガソリンスタンドの設置および営業状況をメイン画面部分に表示します。





ガソリンスタンドの設置・営業状況	①メイン画面表示・・・
24時間営業	
営業時間内	
閉店中	
設置なし	

ご注意





- SA／PA・駐車禁止エリアおよび白バイ出没ポイントについては、ワンセグ視聴時のみ警告対象になります。ワンセグユニットがスタンバイ状態にあるなど、機能していないときには告知を行いません。
- ガソリンスタンドの設置状況や営業時間は変更されている場合があります。お知らせする情報は参考とし、正確な情報は道路の管理会社などから入手するようにしてください。




レーダー警告画面



表示エリア	表示内容
①メイン画面	通常レーダー、またはステルスレーダーのイラストおよび文字アイコンを表示します。
②アイコン表示	レーダー波の受信強度をメータ表示します。
③レベルメータ	ミュート動作状態をアイコン表示します。
④ミュート表示	 通常時（アラーム音出力中）
	 手動ミュート時
	 A A C 動作中
	 G A C 動作中



受信内容	ガイド音声	①メイン画面表示	407 / 350 ランプ
カーロケ初回受信	ピンポーン、 カーロケをキャッチしました		緑点滅
カーロケ接近	ピンポーン、 緊急車両が接近しました。注意してください		
カーロケ離反	ピンポーン、 緊急車両が遠ざかりました		
350無線	ピンポーン、 取締無線をキャッチしました		赤点滅
トラップゲート	ピンポーン、 検問に注意してください		橙点滅

表示エリア	表示内容
②アイコン表示	警報カテゴリに応じたアイコンと文字テキストを表示します。
③レベルメータ	受信した無線電波の信号強度を表示します。
④ミュート表示	 通常時 (アラーム音出力中)
	 手動ミュート時
	 AAC動作中

故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	●電源スイッチが「OFF」になっている →電源スイッチを「ON」にしてください
警告音がしない (音が出ない)	●受信感度設定が低く電波の弱い場所にいる (P20・27) ●スピーカ切替えスイッチが「OFF」になっている →スピーカ切替えスイッチを「ON」にしてください ●AACが働いている (P30) ●GPS測位していない (P11・13) ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源がはいっていない ●ワンセグのレーダー表示設定で警告音が「OFF」になっている (P33) →警告音を「ON」にしてください
取締機を警告しない	●GPS測位していない (P11・13) ●新規に設置されたオービスである
Nシステムを告知しない	●GPS測位していない (P11・13)
白バイ出没ポイントを告知しない	●ワンセグ視聴時のみ告知します (P12・38) ●GPS測位していない (P11・13)
SA/PA・駐車禁止エリアを告知しない	●ワンセグ視聴時のみ告知します (P12・38) ●GPS測位していない (P11・13)
取締以外で警告がでる	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器が影響している場合があります
取締現場で連絡無線が受信できない	●「取締無線 (350.1 M) およびカーロケ無線」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください (P29) ●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではない
警告の途中で警告音が小さくなる	●レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります (P21)
レーダー表示画面が表示しない	●ワンセグのレーダー表示設定で、表示機能が「OFF」になっている (P33) →表示機能を「ON」にしてください

主な仕様

【GPSレーダー】

◇GPS受信部

- 受信周波数……………1.57542 GHz
- 受信方式……………12 chパラレル受信方式
- データ登録数……………最大10,000件
- オービス登録地点……………約650ヶ所
- 取締ポイント……………登録済み
- 白バイ出没ポイント……………登録済み
- オリジナルポイント……………約30ヶ所
- Nシステム……………約1650ヶ所
- SA/PA……………約800ヶ所

◇レーダー受信部

- 受信周波数……………Xバンド/Kバンド
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイナ

◇無線受信部

- 受信周波数帯……………350.1MHz (取締無線)
407MHz 帯 (カーロケ無線)
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイナ

◇外観・一般

- 電源電圧……………DC 12 V
- 消費電流……………待機時 50 mA以下
最大 200 mA
- 動作温度範囲……………-10℃~+60℃
- 外形寸法……………69 (W)×24 (H)×103 (D)mm (突起部除く)
- ケーブル長さ……………約3m
- 重量……………165 g (ケーブル含む)

MEMO

●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - (イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
 - (ニ)保証書のご提示がない場合。
 - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

■保証期間中は:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは:お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。

●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687

保証書

この製品は、厳密な品質管理を經過お届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

GPS-800SG

●保証期間

※ お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※
お客様

ご住所 〒

TEL() -

お名前

※
販売店

店名・住所 〒

TEL() -

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4